

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成24年1月12日 (2012.1.12)

【公開番号】特開2010-119546(P2010-119546A)
 【公開日】平成22年6月3日 (2010.6.3)
 【年通号数】公開・登録公報2010-022
 【出願番号】特願2008-295124(P2008-295124)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 4 F

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月18日 (2011.11.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種の絵柄を循環表示させる複数の循環表示手段と、
 前記絵柄の循環表示を開始させるべく操作される開始操作手段と、
 役の抽選を行う抽選手段と、
 前記各循環表示手段の循環表示を個別に停止させるべく操作される複数の停止操作手段と、

前記開始操作手段の操作に基づいて前記各循環表示手段の循環表示を開始させるとともに、前記停止操作手段の操作に基づいて対応する循環表示手段の循環表示を停止させるように、前記各循環表示手段を表示制御する表示制御手段と、

前記役の抽選に当選した当選役と対応する当選絵柄が有効位置に所定の組合せを形成して停止した場合、入賞成立として遊技者に特典を付与する特典付与手段とを備えた遊技機において、

前記停止操作手段が操作された場合に対応する循環表示手段の循環表示を停止させることが可能となる停止可能期間を設定する停止可能期間設定手段と、

前記停止可能期間に関わる期間情報を予め複数記憶する期間情報記憶手段と、

前記停止可能期間設定手段が前記停止可能期間を設定する場合に、前記複数の期間情報から 1 の期間情報を選択する期間情報選択手段と、

前記停止可能期間が終了した場合、前記停止操作手段の操作有無に関わらず循環表示している循環表示手段を強制停止させる強制停止手段とを備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記役の抽選結果が第 1 特定役当選又は第 2 特定役当選であることに基づいて、当選した当選特定役の示唆に関わる示唆演出を行う示唆手段を備え、前記各循環表示手段の少なくとも 1 つには、前記第 1 特定役と対応する第 1 特定絵柄を前記有効位置に到達させることが可能なタイミングで対応する停止操作手段が操作された場合に前記第 2 特定役と対応する第 2 特定絵柄を前記有効位置に到達させることができず、前記第 2 特定絵柄を前記有効位置に到達させることが可能なタイミングで対応する停止操作手段が操作された場合に

前記第1特定絵柄を前記有効位置に到達させることができないよう、前記第1特定絵柄と前記第2特定絵柄を離間して配置し、前記期間情報記憶手段には、第1停止可能期間と対応する期間情報と、前記第1停止可能期間より長い第2停止可能期間と対応する期間情報と、を少なくとも記憶し、前記示唆手段を、前記停止可能期間設定手段が前記第2停止可能期間を設定するとともに前記停止可能期間が開始されてから前記第1停止可能期間を経過した場合、前記第1停止可能期間を経過する前よりも前記当選特定役に関して有利な情報を示唆する特定示唆演出を行う構成としたことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記役の抽選結果が前記第1特定役当選又は前記第2特定役当選であって、前記第1停止可能期間を経過する前までに前記停止操作手段を操作した場合の入賞成立となる期待度と、前記役の抽選結果が前記第1特定役当選又は前記第2特定役当選であって、前記第1停止可能期間を経過してから前記第2停止可能期間を経過する前までに前記停止操作手段を操作した場合の入賞成立となる期待度と、が等しいことを特徴とする請求項2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記停止可能期間設定手段が前記第2停止可能期間を設定した場合に特定補助演出を実行可能な補助演出実行手段を備え、前記補助演出実行手段を、前記停止可能期間設定手段が前記第1停止可能期間を設定した場合にも前記特定補助演出を実行可能な構成としたことを特徴とする請求項2又は請求項3に記載の遊技機。

【請求項5】

前記強制停止手段は、前記役の抽選結果が当選であっても当選絵柄が前記有効位置に所定の組合せを形成しないよう、前記循環表示手段を強制停止させることを特徴とする請求項1乃至請求項4のいずれかに記載の遊技機。